



社会医療法人
同仁会
Dojinkai
Social Medical Corporation

私たちの理念「一視同仁」

同仁会報みみはら

2020年10月1日発行

第96号



発行 社会医療法人同仁会 同仁会報編集委員会 〒590-0821 堺市堺区大仙西町6丁184-2
TEL 072(244)7260 FAX 072(247)0165 URL <http://www.mimihara.or.jp> (同仁会HP)

～気持ちをのせて～

院内放送「ひかりの子ラジオ」

リクエスト

新型コロナウイルス感染症の予防対策として、病院では面会制限や立ち入り規制などにより、これまで以上に繋がりが減り、緊張感の漂う空気になっていることは、既にご存知かと思えます。入院患者さんの面会も難しく、そして職員も普段より心に余裕がありません。

そのような中で立場や役割を越え、人と人とを音楽で繋ぐ目的で始めたのが、「ひかりの子ラジオ」です。5月下旬の第1回目の放送から、毎週金曜日お昼の時間に、リクエストとお便りを読んでお送



りしています。ラジオという形式も、録音した「院内放送」になりますが、患者さんや職員からのリクエストも少しずつ増えています。

最近では患者さんより、「歌うと笑顔になってくれる同室のおばあちゃんのために、石嶺聡子の『花』を放送してほしい」という嬉しいリクエストが。放送時、お2人は仲良く廊下のスピーカーの下で聴き入っていらしたそうです。ささやかではありませんが、こんな時でも楽しみを見つけて、心を通わせることができると、ほっとしています。

放送は院内病棟のみになりますが、リクエストはどなたからでも受け付けています。ぜひ、ご応募ください！

(耳原総合病院 品質管理部
アート担当 衛藤 桃子)

耳原だけで聴ける！院内放送ラジオ リクエスト曲募集中

「あの曲、もう一度聴きたいな。
みんなと一緒に。」

お昼のひととき 思い出のあの曲を 一緒に聴きませんか？

気持ちふさぎ入院中の患者さんも 動きまわる病院スタッフも
あのメロディーと寄り添いながら ほどけるきもち 繋がるこころ

あなたの一曲、お待ちしております。



こちらから
リクエストフォーム:



<https://ryo.to/wTYrZN>

院内放送「耳原ひかりの子ラジオ」

毎週金曜日12時頃から
全館放送(外来フロアをのぞく)
- ON AIR -

リクエストは耳原アートチームにて選定後に放送されます

大阪市廃止、特別区設置されると 隣接自治体は住民投票なしで特別区に



堺も他人事ではない

「都構想」より「コロナ対策」

政令市の大阪府を廃止し、4つの特別区にする大阪「都構想」についての住民投票を11月1日に実施することが、大阪府議会、大阪

市議会で、維新、公明などの賛成多数で可決されました。住民投票の有効投票の過半数が賛成ならば、2025年1月に大阪府が廃止され、特別区が設置され、大阪市の財源と権限が大阪府に移譲します。

しかし、「コロナ禍のもと、「都構想」について説明会や市民的議論できる環境にはありません。住民が心を一つにして「コロナ対策」に取り組む時期に、「都構想」への賛否で市民に分断と対立を持ちこむ危険性もあります。ただでさえ、「コロナ感染拡大の中で大阪府・市の職員の多くは、労働が過重になっています。秋になれば、さらに感染拡大が懸念される中で住民投票・「都構想」が実施されれば、多数の職員労力が割られることになり、「コロナ対策は後退して、住民の命も暮らしても守れない大阪になってしまいます。財政的にも4つの特別区立ち上げには、初期費用が241億円、システムの運用経費が30億円、職員人件費がさらに21億円〜26億円かかること、その費用が市民の税金などから賄われます。引き続き「コロナ被害」によって、多くの市民・中小業者が経済的にも窮地にあり、都構想をやめさせ、その予算を「コロナ対策」にまわすべきです。

堺市も他人事ではありません。大阪府が特別区になれば、住民投票なしに、市長と議会の承認だけで「都構想」に組み込まれることになり、政令指定都市から特別区に格下げになって、予算も5割以上が大阪府に吸い上げられてしまいます。

いま、大阪府・市がまずすべきことは、病院や保健所を充実させ、感染拡大を防止すること、経済的に窮地にある市民や中小企業を支援して生活と営業を守ることです。コロナ対策を優先し、「都構想」「反対」の運動を広げましょう。

副理事長 土井 康文